



かんおんじ

2017 / 平成29年

4 April



自分の作りた作品を自分らしく制作！

市民講座 押し花 (関連記事15ページ)

目次

- 平成29年度市長施政方針…………… 2～4
- 4月から市の組織が変わります…………… 5
- 4月1日から各種証明書のコンビニ交付サービスを始めます… 6
- 統合幼稚園の園名が決定
観音寺市立観音寺中央幼稚園…………… 19



③ 思いやりあふれる健康福祉のまちづくり

住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活ができるよう、平成30年度から5カ年の「地域福祉計画」を策定します。

三豊総合病院で受診できる一日人間ドック事業の定員を200人増やして1、000人とし、国民健康保険被保険者の疾病の早期発見と健康管理意識の高揚に努めます。

骨髄バンク登録者が骨髄や末梢血幹細胞を提供する場合に、提供者と提供者が勤務する事業所に対して助成金を支給する制度を開始します。

介護老人福祉施設と地域密着型サービス事業所の整備を進めます。また、「高齢者福祉計画」および「第7期介護保険事業計画」を策定し、高齢者福祉施策の総合的な推進と介護保険制度の円滑な運営を図ります。

「障がい者計画」および「第5期障がい福祉計画」を策定し、ともに暮らし、自立し、社会参加できるまちづくりと、障がいを理由

とする差別のないまちづくりを推進します。

生活保護受給者に対して適正な支援を行うとともに、生活困窮者に対する支援を継続します。

④ 人と文化が輝く生涯学習のまちづくり

「第3次観音寺市子ども読書活動推進計画」を策定し「子ども読書のまち」を定着させるための取り組みを進めます。

小学校の英語教科化を見据え、小学校の外国語指導助手を増員し、児童の語学力と国際理解力の向上に先進的に取り組みます。

総合運動公園、総合体育館、高室小学校校舎の計画的な改修を実施し、スポーツ施設や学習環境の向上を図ります。

四国遍路の世界遺産登録を目指し、遍路道および石造物の測量と調査を実施します。

子どもの見守り活動と青少年の健全育成に家庭、学校および地域と連携して取り組みます。

⑤ 海・山・川の自然輝く快適環境のまちづくり

直島町を除く県内全域で水道事業に取り組むための企業団を設立し、平成30年度からの事業統合に向けた準備を進めます。併せて、市内の管路の新設や更新、水道施設の耐震化などを実施し、円滑な移行に備えます。

「下水道長寿命化計画」に基づいた第1ポンプ場の長寿命化工事や管渠（地下水路）の布設と維持管理を行います。

将来にわたって下水道施設を計画的、効率的に管理するための「下水道ストックマネジメント計画」の策定を進めます。

ごみの減量化と再資源化にさらに取り組みます。また、これからの一般廃棄物の処理について検討を行います。

⑥ 豊かな地域資源を生かしたいきいき産業のまちづくり

農業振興を図る地域を明らかにし、土地の有効利用と農業の近代化を推進するため、「農業振興地域整備計画」の見直しを行います。また、耕作放棄地を再生・

利用する取り組みへの支援を強化します。

常磐地区における排水路整備をはじめ、農業用施設の適切な整備改修と管理を継続して行います。

市管理漁港について海岸保全区域の指定を行い、機能保全計画を策定し、適切な維持管理に努めます。

終わりに

これらの施策を進めるにあたり、市民サービスの向上を図ることはもちろん、一方で効率的な行財政運営が求められています。

ふるさと納税制度「がんばれ観音寺応援寄附金」は、平成28年度から寄附者へのお礼の産品をリニューアルし、全国の多くの方からご寄附をいただきました。これからも制度を充実させ、貴重な財源として効果的に活用します。

証明書発行手続きの効率化と簡素化、さらなる市民サービスの向上のため、住民票の写しなどの証明書を全国のコンビニエンススト

アで交付するサービスを4月から開始します。一部の証明書を除き、休日や早朝夜間にもサービスを受けられる体制を構築します。

「観音寺市公共施設等総合管理計画」に基づき、長期的な視点で公共施設の統合と長寿命化に取り組みます。

幕末から明治初期にかけて、四国内で城下町を除き人口が1万人以上のまちは観音寺市だけであったといわれています。長きにわたって、四国の交通の要衝として、また海・山・川の恵みを受けて栄えてきた本市は、これからも発展し続けるポテンシャルを必ず持つているものと私は信じています。

私は、「ひとが元氣、まちが元氣、やさしさと元氣印の観音寺」のスローガンを胸に、本市の輝かしい未来を市民の皆さまと一緒に創り上げるため、地に足をつけて着実に前進してまいります。

市民の皆さまの市政に対する格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。